

七
一

税関吏切リニ悪宣傳ヲ試ミ居リ當地華人下級職員之ニ共鳴シ邦船旅客貨物ノ検査等ニ意地悪ク取扱フ傾向顕著トナリ又一部華人ノ対日感情悪化ノ兆アリ

一 上海海軍特別陸戦隊本部ニ於テ共同委員會委員立會ノ下ニD区ニ関シ日支間ノ受渡ヲ了ス之ヲ以テ停戦協定第三條ニ関スル限リ一月二十八日以前ノ状態ニ復ス

二 江蘇省及帝抗日援助東北義勇軍聯合會ノ名義ヲ以テ滬西必分勃生路共和大戲院ニ於テ共產黨員約百名大會ヲ開カントシテ殆ント全部公安局ニ逮捕サル

- 三 軍艦熱海上牌州（漢口上流五十浬）通過ノ際支那軍艦咸寧ト交戦中ノ対岸ノ共產軍ヨリ射撃ヲ受ケ之ニ應射ス
- 四 長沙抗日救國學生團ハ戴生昌汽船ノ中國人船客約二〇〇名ノ乗船ニ対シ阻止暴行ス同地我領事ハ省政府ニ抗議ス
- 五 福州罷市ハ市商會ノ調停ニ依リ家屋稅徵收ヲ取消シ閉市ス
- 六 支那海軍部ハ經費節減ノ結果楓林橋海軍引水傳習所ヲ縮少スル外独逸人航空教官某ヲ八月限解聘スル旨發表ス
- 七 満鉄連絡員石本権四郎氏北票ヨリ

發送先 全前號

錦州ニ向フ途中匪賊ノ為拉致サレ行衛
不明、第二中村事件トシテ注目サレ

(終)

滬週第一六號附錄

昭和七年七月十八日於上海

北岡中華民國在勤帝國公使館附武官

東北海軍脱退組ニ對スル

南京政府ノ任命

昨年十一月東北海軍總司令沈鴻烈ノ專横
 ヲ憤リ徒党ヲ組ミ沈追出シテ策ニ却ツテ
 沈ニ裏ヲ搔カレ東北海軍ヲ脱出南下ノ止
 ムナキニ至レル旧東北海軍幹部左記ノ者
 最近ノ消息ニ関シ新ニ駐日中國公使館
 附海軍武官トシテ赴任ノ途ニアル揚宣誠
 (海軍少將)ヨリ聞ク知ニ依レハ夫々頭書ノ通

リ性命サレタリト爲念

記

軍事委員會高級參謀
參謀本部
廣東海軍學校
招商局船長

凌劉方馮
田念
霄甫祖濤

(終)

滄週第一六號附録ニ

昭和七年七月十八日 於上海

北園中華民國在勤帝國公使館附武官

蔣介石ノ匪又民衆ニ告クルノ書並

命令

(漢字紙前報)

共匪討伐ニ関シ蔣介石ハ曾テ南京出發前
 軍事的行動ト共ニ政治的方策ニ注意シ匪
 又民衆ニシテ赤軍ノ脅迫ニ依リ己ムヲ得ス之ニ
 加入セル者ハ此際處罰スルコトナク寧ク口歸順ヲ
 歡迎スル旨布告セルカ本月十四日左ノ如キ匪又民
 衆ニ告クルノ書並命令ヲ頒布スハク己ニ十萬部
 ヲ印刷シ飛行機ヲ以テ匪又ニ散布スヘシト云フ

一、匪区民衆ニ告クルノ書

河南湖北安徽三省匪区同胞諸子ヨ、赤匪ハ民衆ヲ欺瞞シ無人道ノ慘ヲ為ス國軍ハ三省民衆ヲ救濟センカ為來レリ、而シテ軍紀ヲ恪守シ百性ヲ愛護ス

凡ソ脅カサレテ組セル分子モ一律ニ優待シテ絶對ニ連累者ヲ出サス、國軍ハ來レリ、諸君ノ救世主ハ來レリ、同胞ハ安住シテ業ヲ樂ミ太平幸福ヲ享クセラ得ヘク、決シテ逃避スルニ及ハス國軍ハ亦赤軍ト雖モ自首スルモノハ之ヲ歡迎シ内應者ニハ重賞ヲ與フヘシ

ニ命令

(一) 歩兵銃ヲ持ッテ帰順セル者ニ二十元ヲ賞與ス

- (一) 匪首團長ヲ殺シテ帰順セル者ニ五百元ヲ賞与ス
- (二) 匪首師長旅長ヲ殺シテ帰順セル者ニ五千元ヲ賞与ス
- (三) 匪首營長連長ヲ殺シテ帰順セル者ニ三百元ヲ賞与ス
- (四) 匪軍黨代表ヲ殺シテ帰順セル者ニ三千元ヲ賞与ス
- (一) 匪首偽營長連長ヲ生捕リシテ帰順セル者ニ五百元ヲ賞与ス
- (二) 匪首偽團長旅長ヲ生捕リシテ帰順セル者ニ一千元ヲ賞与ス
- (一) モーゼル銃ヲ持ッテ帰順セル者ニ三十元ヲ賞与ス
- (二) 機銃ヲ持ッテ帰順セル者ニ三百元ヲ賞与ス
- (三) 徒手帰順セル者ニ五元ヲ賞与ス

- (三) 匪首偽師長軍長ヲ生捕リシテ帰順セル者ニハ
二萬元ヲ賞與ス
- (四) 匪首及各級偽党代表ヲ生捕リシテ帰順セル者
ニ一萬元ヲ賞與ス
- (五) 匪首偽司令偽總指揮ヲ生捕リシテ帰順セル
者ニ三萬元ヲ賞與ス
- (一) 赤匪ノ武器ヲ携帶投降スル者ヲ特別歡迎ス
- (二) 赤匪ノ自首ヲ歡迎ス
- (三) 赤匪ノ密告ヲ歡迎ス
- (四) 純良ナル民衆ヲ保護ス
- (五) 被脅迫ノ民衆ヲ優待ス
- (六) 匪凶凶人民ヲ救済ス

(七)(ハ)(九)(一〇)(ニ)(三)

誣陷ヲ嚴禁ス

挾仇報復スルヲ許サス

凡ソ自ラ改ムルモノハ一律ニ優待ス

純良ナル民衆ヲ連累タラシムルヲ許サス

民衆ヲ欺瞞圧迫スルヲ許サス

民衆ノ剽匪邦中助ヲ將大勵ス

(終)

軍務局長

滄週第一七號

昭和七年七月二十五日於上海

北岡中奉民國在勤帝國公使館附武官

第一課長

司員

週報

(自七月十四日)



月日	項
七八	一
	二
	三

記

事

首都抗日會ハ南京各商店ニ對シ日貨ハ從前通り封存シ販賣スルヲ許サス若シ之ニ違反スル者アラハ懲戒規約ニ照シ處罰スル旨通告ス

韓復榘泰山ニ馮玉祥ヲ往訪ス

王拜廷ハ林國廣ト討議ノ結果楚有

永健ノ二隻ヲシテ中山艦ノ武装解除

軍務局長
7.8. 5

<p>四 セシノ完全ニ之ヲ接收ス 満鉄沿線ニ匪賊ノ出沒甚ク不安 増大ス</p>	<p>七、九 一 執一河省境ノ事態切迫セリトテ北平ノ 人心動搖ス</p>	<p>二 三 國聯調査團一行日本ヨリ再ヒ青島未着 中山艦楚有永健監視ノ下ニ厦門發 上海ニ回航ス</p>	<p>七、一〇 一 首都抗日會八日債ヲ運輸敗賣スル者ハ 其ノ生命財産及名譽ニ社會的制裁ヲ 加フル等ノ懲戒規約十七條ヲ擬定ス</p>	<p>二 我軍飛行機朝陽ヲ爆撃セリトノ報 南京ニ傳ヘラレ國民政府ハ蔣介石ニ對シ</p>
---	--	---	---	---

至急回京方ヲ電ス

三 熱河問題ニ對シ張學良ハ左ノ通り各軍

ノ出勤ヲ開始セシム

歩兵第七旅(王以哲)清河鎮ヨリ熱河方面へ

歩兵第九旅()南范ヨリ密雲方面へ

歩兵第十八旅(杜繼武)

歩兵第六旅(王和華)

歩兵第四旅(郭希鵬)

出勤準備中

四

湖北省政府ハ蔣介石ノ命ニ依リ公務員ハ
租界内ニ居住スルヲ得ス現在居住中ノ者

ハ即時轉居スヘシト令ス(漢字紙所報)

杭州附近移轉ニ決定シ居タル上海兵工廠ハ

原案ヲ取消シ南京移轉ニ變更シレ

七
二
一

廠長宋式馬島ハ之カ爲軍政部ニ辭表ヲ
提出セリト

七三一
一 鎮江ニ於ケル封存日債ハ同地仇債取締委員
會監督ノ下ニ開封敷費スルコトヲ許可ス

二 汕頭抗日會ハ救國會ト改稱市黨部ハ
新ニ章程ヲ定メ執行委員七名參事三十名
ヲ指令ス

三 宋子文羅文幹東北海關封鎖問題協議
爲南京ヨリ來滬

四 韓復榘ハ張學良再三、招電ニ依リ石友三
ト共ニ北平ニ向ケ濟南發

五 行政院長汪精衛ハ十九日張學良ヨリ
熱河事件ノ報告ヲ受ケタリトテ各省軍政

長官宛左ノ如キ通電ヲ發ス

張學良ノ報告ニ依ル日本軍ハ十七日

鉄甲車二列ヲ以テ朝陽寺ニ突進シ我軍

ヲ射撃シ飛機五台ハ交通通信及軍政

各機關ニ爆彈三〇ヲ投下シ機銃ヲ以テ

射撃シ死傷者多数ヲ出セリト依ツテ全

地駐防軍ニ對シ嚴重抵抗ヲ命ジ日

本ニ抗議スル外特ニ國難日ニ深刻化スル

今日我軍政長官ハ所屬ヲ督勵シ一致

協力共ニ捍衛境畧ヲ保持スルヲ望ム

六 日清汽船信陽丸調関口ニ夜泊中共産軍

ヨリ小銃射撃ヲ受テ警戒隊之ヲ反撃

沈黙セシム

七三三

一 上海郵務總局ハ交通部ヨリ滿洲國各郵政局ノ即時封鎖ノ密令ヲ受ケ局長黃乃杞ハ之ヲ發令スルト共ニ午後九時頃ニ至リ上海郵政局ハ爾今滿洲國郵便物並ハ包類ノ受付ヲ停止シ滿洲中國間ノ一切ノ爲替送金ヲモ取扱ハサル旨布告ス

二

上海各團體救國聯合會宣傳部ハ緊急宣傳會議ヲ開キ左記各項ヲ決議ス

(一) 國際宣傳組織ノ擴大案

1. 速ニ上海國際宣傳局ヲ籌辦ス

2. 海外各國留學生同胞ニ依頼シ通信員トス

3. 組織法及負責人員(略)

(二) 外埠宣傳員增加案

八、暑中休暇中ノ各大學生ヲ徵求ス
以上海小西門少年宣講團ニ於テ志願者ヲ
受付ク

ハ、應募者ハ學校証明書ヲ要ス

(三) 上海各項刊行物編輯會議ヲ開催ス

(四) 救國週刊ヲ發行ス

三 蔣介石ハ汪精衛ヨリノ電報ニ接シ飛行機

ヲ漢口發九江ニ向テ粘嶺ニ於テ汪精衛

羅文幹等ト熱河問題應付辦法ヲ

商議スヘシト

四 韓復榘、石友三及山西代表商震北平着

湯玉麟ハ中央ニ服從張學良擁護ノ

通電ヲ發セリト (漢字紙)

120

七二四

- 六 居正司法院長代理ニ就任ス
- 一 上海撤兵区域接管委員會殘務ヲ
市政府ニ移シ本日限リ閉鎖ス
- 二 國民政府ハ滿州國ノ郵政接收並熱河
問題ニ就テ上村領事ヲ通シ我國ニ抗
議（七月三十日附）ヲ提出ス
- 三 南京上海北平漢口天津廣東等各地郵政局
ハ滿洲宛郵復物ノ取扱ヲ停止ス
- 四 唐生智上海ヨリ赴京汪精衛ト會見ノ上
漢口ニ赴クヘント
- 五 上海ニ於テ開催予定ナリシ全國各地郵務
工會第二次代表大會ハ中央ノ制止ニ依リ全國
各地郵務工會聯席談話會ト改名南京

ニ於テ関催ス

六 第十九路軍第七十八師ノ負傷兵三名

福州ニ赴カントシテ大坂商船碼頭ニテ我

陸戦隊ノ爲取調ヘラレタル事件ニ関シ

本日ノ当地漢字紙ハ暴行ヲ受ケ負傷セ

リトノ真相相違ノ虞宣傳記事ヲ掲載ス

七 張學良外人顧問 ^{Donald} 及秘書一飛行機ヲ

宋子文ト軍費問題協商ノ爲北平ヨリ南京

至由上海着

八 首都各校抗日會ハ常務會議ヲ開キ執河

問題ニ就キ在ノ各項ヲ決議ス

(一) 張學良ニ誓死抵抗ヲ電シ若シ實行

セサル時ハ政府ニ撤職查辦ヲ呈請ス

百	九
<p>第三十三師副師長馮興賢師長ヲ代理ス 改任全師副師長馮興賢師長ヲ代理ス</p>	<p>廣東海軍軍艦中山廈門ヨリ着滬 江南造船所ニテ修理ノ上第一艦隊ニ編入 ノ予定新艦長羅致通任命サル</p> <p>三ノ全國各團體ニ通電ニ張學良ニ抵抗セ ンコトヲ督促シ並政府ニ出兵ヲ請願ス</p> <p>(二) 二十六日行政院ニ到リ政府ハ出兵抵抗スルノ 誠意アルヤ否ヤヲ質問ス</p>

(終)

五

上海清報

滬週第一八號

昭和七年八月一日於上海

北岡中華民國在勤帝國公使館附武官

軍務局



第一課長



司員



週

報

(自七月廿五日 至八月一日)

記

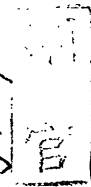
事

項目	月日
一	七、二五
二	
三	

蔣介石廬山ヨリ下リ九江ヨリモ飛行機ニテ
九江ヲ發漢口ニ向フ

何健ハ長沙ニ於ケル紀念週ニ於テ中露
國交復活及対ノ演説ヲ為セリト(漢
字紙報)

國民政府行政院ハ全國公務員ニ対シ
ル今一律ニ國貨ノ使用ヲ命令ス



軍務局受
7.8.16
月 日 曜

- 四 徐永昌ハ北平ニ於ケル各將領會議ニ出席ノ爲北平着
- 五 北平 綏靖公署ハ左記六名ニ対シ上將待遇ヲ以テ遇スル旨發表ス
 孫殿英、 商 震、 龐炳勳
 門致中、 秦德純、 張煥相
- 七、六、一 張學良外人顧問「ドナルド」上海ニ於テ宋子文ト會見シ了ヘ宋ト同乘飛機
 ニテ南京ニ向フ「ド」ハ即日北平ニ歸レリト
- ニ 上海有力商工團ハ青島市長沈鴻烈、招待ニ應シ王正廷、高恩洪等ニ隨伴上海發青島ニ向フ
- 三 滿州國交通部ハ奉天郵務管理局ヲ

- 四 接收午前八時ヨリ事務ヲ開始ス
内地避難邦人本日迄ノ上海復帰者
計一六四五二名
- 五 軍艦福安海瑞兩艦長ハ陳濟棠ヲ
往訪廣東ニ帰順ノ意ヲ表示ス
- 六、七、一 上海ニ於ケル排日貨運動悪化シ血魂除
奸團ナルモノ棉布公所紗布公所三脅
迫狀及爆彈ヲ送レル事アリ
- 二 上海東北義勇軍後援會ハ熱河問題
ニ関シ蔣介石、張學良、閻錫山、韓復
榘ニ対シ速ニ保國ノ大計ヲ決定シ東北
各將領ハ関外ニ出師、失地ヲ收復センコト
ヲ請フ旨電報ス

七二八

一 蔣鼎文部隊、淮北移駐ニ依リ駐浙江、
魯日孫平部、獨立第三十六旅（戴岳）、
第一團（魯渭平）上海着左、通配備ナ
ル（漢字紙報）

第二營

第三營

龍華

第一營（張繼南）高昌廟兵工廠

二 上海血魂除奸團、潜行の活躍愈烈シテ

永昌煤號（石炭商）ニ脅迫状ト爆彈ヲ

送ル

三 南京ニ於テ開催中ノ全國各地郵務工会

聯席談話會ニ於テ抗日工作大綱ヲ

議定ス

四 北平政務委員會談話會ヲ開キ左ノ件
ヲ決定ス

(一) 保境禦侮宣言ノ發表

(二) 北平政務委員會ノ組織ヲ擴大シ委員
ヲ増加ス

(三) 顧維鈞、石友三、孫殿英、張羣

王樹常、劉翼飛、劉尚清、王克敏

石德純、易培基ヲ委員トシ

張君羊 劉哲ヲ常務委員トス

五 上海郵務管理局ハ滿州國ヨリノ發着

郵便物屬置ニ關シ左ノ如ク布告ス

○ 到着郵便物

(一) 大連或ハ其ノ他ノ地方ヲ經由シテ到着セ

ル郵便物ニシテ左記ノモノハ郵税未納ト
シテ不足税ヲ徴収ス

(イ) 満州國ノ切手貼付ノモノ

(ロ) 日本切手貼付ノモノ

(ハ) 中華民國切手ヲ貼付シアルモノ満州

國ノ消印アルモノ

(ニ) 未消印ノ中國切手ヲ貼付シ或ハ該郵便

物カ明ニ關東租借地ヨリ發送サレタルモノ

ニテ日本切手ヲ貼付シアルモノハ従前通り

爲理ス

(三) 南滿鐵道區域(關東租借地外)ヨリ

發送サレタル郵便物ニシテ日本切手ヲ

貼付シアルモノハ郵税未納トシテ不足

税ヲ徴収ス

○發送郵便物

(一) 関東租借地宛ノ郵便物ハ大連ヲ經由シ朝鮮宛ノモノハ大連又ハ日本ヲ

經由ス

(二) 亞細亞露路西亞宛ノモノハ浦塩斯德ヲ經由シ歐洲露路西亞宛ノモノハハスエスレ運河或ハ大平洋ヲ經テ發送ス

七九一 蔣介石飛行機ヲ廬山ニ向ケ漢口發

ニ 上海關北一帶ニ日本軍示威行動ス
ヘシトノ謠言傳ヘラレ同地ニ人心怵々
タリ

七、三〇

- 三 行政院會議ニ於テ各部長ハ東北海
関即特封鎖實行ヲ主張ス
- 四 北平政務委員會全體會議開幕
上海血魂除奸團再ヒ紗布交易所及
南京路支那大商店ニ脅迫狀及爆彈
ヲ送ル
- 二 駐日支那公使館附武官 陸軍少將楊
廷溥 海軍少將楊宣誠上海發赴任ス
- 三 新排日團體 上海ニ於テ國民自救
會成立ス
- 四 財政部長宋子文ハ七月末 日本ニ支
拂フヘキ團匪賠償金 三万三千磅ハ滿
洲國ノ海関接收ニ依リ関稅減收ヲ理

- 由トシテ支拂ヲ停止スル旨非公式聲明ス
- 五 南京各界ヲ抗日會ハ熱河問題ニ関シ
政府ハ長期抵抗ノ宗旨ニ基キ速ニ派兵
抵抗センユトヲ呈請ス
- 六 平津抗日會及工商學等各團體ハ請
願團ヲ組織シ代表ヲ順承王府ニ派シ
張學良ニ対シ左記數項ヲ請願ス
- (一) 失地回復
- (二) 華北將領ハ聯合機關ヲ組織シ共同
禦侮ス
- (三) 整然タル計畫ヲ確定シ抗日清共ス
- (四) 壯丁ヲ選抜シ後備兵役トス
- 漢口總司令部ハ左記歸順勸告ヲ頒

布ス

(一) 偽師、旅、團、營、連長ノ部隊ヲ率テ井
 歸順スルモノハ一級ヲ升進シ國軍ニ編
 制シ並ニ全師十萬元、全旅三萬元、全
 團一萬元、全營五千元、全連一千五百元
 ヲ賞与ス

(二) 偽師、旅、團、營、連長ノ歸順スルモノ
 ハ原階級ヲ保留ス

七、三、一
 血魂除好團ハ上海三大百貨店先施
 新々、永安公司ニ対シ全日貨ヲ封存スヘ
 シ而シテ同團激員検査ノ際日貨ヲ殺
 見セル時ハ爆破スヘシト脅迫ス

二
 北平政務委員會全體會議閉幕

三

李濟深ノ豫鄂皖三省勦匪副司令辭

職ニ依リ蚌埠ノ行營ヲ撤消ス

四

張學良ハ熱河問題ニ関シ

「日本軍力最後通牒ヲ提出シ或ハ

馬台山戦死等ノ説ヲ傳フルハ日本人

ノ宣傳ニシテ日露路ノ形勢日ニ悪化

シ露軍ハ北滿ニ集結セルヲ以テ戦

争ノ免ルヘカラサルヲ知り此ノ際熱河ヲ

台領シ以テ後顧ノ憂ヲ無カラシメント

スルモノナリ云々

ト南京ニ電報ス

(終)

1336

發送
先
同
前
号

滬週第八號附録

昭和七年八月一日於上海

北岡中華民國在勤帝國公使館附武官

瑞金中國ソウゴト政府ノ放送

東洋ニ於ケル共產黨ノ指導者「マールン」夫妻^(Moullens)上海ニ於テ逮捕サレテ以來約一年此ノ間宋慶齡^等第三黨ハ「又」釋放ノ為ニ奔走シ最近「又」夫妻絶食シテ法庭ニ立ツテ拒絶スルヤ問題「再燃」シ此カ為七月十二日司法行政院長羅文幹ハ辞表ヲ提出スルニ至レリ

七月十九日中國蘇維埃首都江西省瑞金放送局ハ「マールン」事件ニ関シ左記要旨ヲ放送シ当地ニ於テ「大センセイ」ラ捲キ起セリ石放送ハ果シテ實存ノ

瑞金放送局ナルヤ否ヤハ不明ニシテ或ハ共產黨員
カ宣傳ノ爲ニ瑞金ノ名ヲ用ヒタルモノナラントモ噂サル
ルモ兎モ角上海ニ於テハ明瞭ニ聽取サレタリト云フ

記

中國蘇維埃政府ハ全世界ニ左ノ通り宣言ス
過去五ヶ年國民黨南京政府ハ中國ヲ統治シ
内ハ革命運動ノ彈壓シ群衆ニ白色テロ
ヲ實施シ外ハ帝國主義者國家ニ對シ賣國
的行爲ヲ繼續セリ最近南京政府ハ帝國主義
國家ニ迎合シ日本ノ侵略者ト和ヲ結ヒテ上海地ヲ
賣レリ其ノ結果十九路軍及五路軍ハ上海ヲ撤退
ノ止ム無キニ至レルノミナラス日本帝國主義ニ革命
戰ヲ開始セル共產軍討伐ニ全軍ヲ利用セリ

「スーレン」夫妻ノ逮捕ハ帝國主義者ノ命令ヲ遵奉スル
 南京政府カコノ中國革命ノ友ヲ彈壓スヘク上海ノ外
 國警察ト協力セル結果ニ外ナラス

本省政府ハコノ中國革命ノ友人ヲ欣然保護スル
 意志ヲ有シ南京政府ノ白色「テロ」ニ反抗シ「スーレン」
 救出ノタメノ世界的運動ニ合流シ最後ニ同夫妻
 ノ釋放ト交換ニ各「ソウエー」ト政府ニ於テ監禁示
 中ノ全宣教師ヲ釋放スル用意ヲ有ス云々

ト宣言シ江西省「ソウエー」ト政府ハ右放送ノ別ノ部分テ
 「スーレン」夫妻救出國際委員會ニ對シ前記條件
 ニヨリ南京政府ト交渉ヲ開始サレ度ニト要求セリ。

(終)

軍務局

滬週第一九號

昭和七年八月八日於上海

北函中華民國在勤帝國公使館附武官

第一課
第二課

報

(自八月七日
至全日)

記

大事

月日	項
八一	<p>上海ニ於ケル及戰紀念日ハ共產黨及帝同盟 系等ノ左傾團體示威運動スヘシトノ情報ア リテ朝來租界及華界トモ警戒ヲ嚴ニシ 佛租界ハ華界トノ鉄門ヲ閉鎖シ通行 人ヲ検査セルカ何等事故ナク經過セリ 二 南京市商會ハ最近日貨ノ輸入増加ニ対 シ之ヲ抵制スルニ非ハ自救スル能ハストテ首都</p>

軍務局受
7.8.19
月日發

商界可抗日救國會ノ組織擴大特別工作ヲ
主張シ近ク大會ヲ召集シテ之カ計画ヲ議定
スヘシト

三 汕頭各業聯合會ハ省政府、黨部、經靖
公署ニ向ヒ封存日貨ハ十月以上ヲ逾シ海
産物等腐敗ノ恐レアリトテ速ナル閉封ヲ
請願ス

四 大部隊ノ匪賊營口市外ニ方里ニ來襲前
進中ナリト報アリ 第十ニ驅逐隊軍艦淀
營口ニ急航ス

八二一 江蘇保安隊第二團（杭州ニ憲兵第六團
ヲ改編セルモノ團長齊學啓）千五百名着
滬左ノ通駐也ス

本部

紹興會館

第一縱隊

温州會館

第二縱隊

潮州會館

第三縱隊

湖南會館

尚該團迫擊砲隊ハ龍華格子書院ニ

駐スト(漢字紙報)

ニ上海兵工廠ハ南京金陵兵工廠ニ合併ニ決

定シ兵工署ノ命ニ依リ廠務處理委員會ヲ

組織シ移轉準備ニ着手ス

三 宋財政部長ハ七月廿日非公式ニ聲明セル

日本ニ対スル國匪賠償金支拂停止ヲ取消シ

大連海關ヨリ一部送金アリタルニ由リ之ヲ日本

ニ支拂フヘシト總稅務司「メーズ」ニ命令ス

四 第十六駆逐隊、浣營口着陸戦隊ヲ揚陸 匪賊ト交戦中	五 蔣介石軍艦民権ニ乗艦咸寧ヲ率井 九江發上江ス	八、三一 一 蔣介石漢口着	二 南京血魂除奸團成立シ若シ日貨ヲ販賣 シ警告告スルモ之ヲ聞カサルモハ爆彈銃子銃ヲ 以テ最後ノ解決ヲナス旨發表ス	三 東北艦隊練習艦鎮海南支各港台湾 ヲ經テ上海ニ入港ス	四 財政部ハ七月中、関稅收支ヲ九ノ通發表ス 收入 上海兩一〇、〇七〇、三五、四六兩 支出(各種借款、賠償金)
-------------------------------	-----------------------------	------------------	--	--------------------------------	--

八四

- 上海兩 一三、七七八、二五八、六二兩
不足 上海兩 六、二〇八、一三六、一六兩
- 一 上海血魂除奸團北平ニ入込ニ當局ニ対シ日貨検査ヲ開始スル旨通告セリト(漢字紙)
- 二 上海海關奢侈品輸入税徴収ヲ開始ス
右ニ依ル增收一五年二千万兩見当ト豫想セラル
- 三 南京各界抗日會ハ大會ヲ開キ
(一) 日貨取扱者ノ處罰方法
(二) 日貨検査團ノ組織ヲ決定ス
- 四 秦皇島日鮮人居住地区ニ支那暴民來襲暴行ヲ加ヘ鮮人三重傷四殺害サレ

同島守備隊現場ニ急行犯人ニ名ヲ速
捕ス

五 宜昌ニ於テ信陽丸積荷（日本兵服類三三
個）同地救國會ノ妨害ニ依リ荷受華
人ニ之ヲ受取ラサル事件アリ

六 球磨「タウ」着陸戦隊一ヶ分隊ヲ
測量基点ニ揚陸ス

八
五
一 李濟琛蚌埠行營正式撤消ヲ蔣介
石ニ電報ス

二 津浦路南段警備司令王均辭職シ蔣
鼎文之ヲ兼任ス

三 上海民國路支那人雜貨店ニ爆彈ヲ投セル
血魂除奸團員惲蕙芳（一六才）公安

八、六、一

局巡捕ニ逮捕ナル(六日佛租界警察ニ引渡サル)

行政院長汪精衛曾仲鳴唐有壬ヲ伴ヒ

南京ヨリ來滬中央執行委員會、國民政府

主席、各院部長、蔣介石、張學良ニ對シ

辭職通電ヲ發ス(滬普第三ニ番電参照)

二 内政部長兼外交部長黃紹雄飛行機ニテ

南京ヨリ來滬汪精衛慰留ニ努ム

三 上海市商會ハ各業者ニ對シ對日經濟絶

交ヲ徹底的ニ實行スヘシト通告ス

四 海州ニ血魂除奸團支部成立シ激烈ナル手段

ヲ以テ奸商ニ對付スト同地新聞ニ投書ス

五 福建勦匪司令張貞ハ閩省經靖公署成立

ニ依リ辭職ヲ申出ス

六 天龍青島着

七 刈菅秦皇島事件調査ノ為營口必發
同地ニ向フ

八 宜昌ニ於ケル日貨不受領事件ハ宇治艦
長支那当局ニ対シ交渉ノ結果為受人之
ヲ引取り解決ス

ハ
七
一 血魂除奸團悍蕙セカ被逮捕事件ニ
關シ上海各團體救國聯合會ハ緊急
會議ヲ開キ大要左ノ如キ公文ヲ發表シテ
釋放方ヲ請求セリ

日本ハ暴カヲ以テ東省ヲ強台シ淞滬ヲ
危害セルニ依リ我國民ハ憤起抗爭經濟

絶交ヲ勵行セリ之我熱血國民ノ必要ナル
 行為ニシテ我國奸商ノ貪利賣國的行
 爲ニ対シ峻嚴ナル手段ヲ取リ人民ノ公意
 ニ根據シ此種賊子ヲ處置スルハ國法モ
 當然容許スル所ナリ 況ンヤ憚蕙心其力
 ハ年僅カ十六才ニシテ未タ法定年齢ニ足
 ラス任意逮捕スルヲ得ンヤ、法ニ依リ釋放
 スヘシ云々

二 交通部ハ東北發電取締辦法ヲ擬定シ滿
 洲國人ノ發スル軍政外交消息電ヲ檢査扣留
 セントス（中央政治會議ノ議決ヲ經テ後實行
 ノ答）

三 國民政府主席林森蔣介石ノ即日歸京ヲ

電促ス

四 蔣介石ハ汪精衛慰留電ヲ發スルト共ニ何應
欽、吳鐵城、宋子文ニ対シ慰留勸告方ヲ電
報ス

五 張學良ハ蔣介石宛書人ノ去就ハ問題ニアラ
ヤルモ華北ノ治安ヲ負責維持スルモ、與キニ依リ
遠ニ辭職スル能ハス法ヲ設ケ大計ヲ主持センコ
トヲ請フ旨電報ス

六 外交部長羅文幹辭表ヲ提出ス

七 南京各校抗日會ハ行政院、軍事委員會
ニ対シ張學良ノ撤職查辦ヲ呈請ス

八 王正廷、崔士傑青島ヨリ北平着膠濟鐵
道回收ニ関シ積極的ニ運動ス

追加

九

錦州 日本軍八石本氏引渡交渉絶望下共
ニ自力救出ニ先立午熱河当局ニ対シ最後
通牒ヲ發ス

七三一

関東軍司令部發表

馬鞍山ハ七月二十七日ヨリ二十九日ニ亘ル激戦ニ
於テ海倫河北方ノ安固鎮ニテ戦死セリ

(終)

送付先 全前号

滬週第一九號附錄

昭和七年八月八日於上海

北岡中華民國在勤帝國公使館附武官

第十九路軍總指揮部、受領セル慰問金
上海事變ニ勇名ヲ軍轉セル第十九路軍ニ對スル慰
問金並支出左ノ如シ(第十九路軍發表)

記

全收入大洋ニ換算一〇、六八、三七二元二〇〇

全支出(自民國二十一年一月至今年六月)

一〇、二二〇、四九六元七〇〇

残高

一大洋

四五九、八七五元五〇〇

戶別	幣別	金額
南京	大洋	九三五四〇
江蘇各縣	大洋	四四三三六
上海	大洋	五三〇九〇
浙江	大洋	八五九四〇
安徽	大洋	二五七九〇
江西	大洋	一〇〇一九
湖北	大洋	一〇三三三
	銀	二四七〇〇〇
	香港幣	七四三三〇
	小洋	
	廣東小洋	
	米	三七四一〇〇
	貨	

收入部

細目

四
新嘉坡

三
磅

二
米

五〇元〇〇

五六磅一〇志

四六七二五

内						國						
廣東	廣州	福建	甘肅	陝西	山西	河南	青島	山東	天津	河北	四川	湖南
九五五九六	五五八三四	一七三七三	八八〇	一四〇〇八	五七七六四	二三七〇七	一四三五七七	九七七六八	一三五四五四	六八〇二二	四三三四六	三三三四四
七四五〇〇	七〇九五二	七	三四	七	〇	〇	五九八〇	二	一	三四	〇五	四七
五二〇九	六五四九九											
二五二六	五三〇〇										三七〇〇	
六	九五										〇〇	
四五六	八五六										二五〇〇	
五	二										〇〇	

			部						之				
小北	比律賓	米國	合計	各省	東北	青海	貴州	雲南	廣西	廣州	澳門	香港	汕頭
二七,〇〇〇	七九,三五二	一七四,五六七	二九八,七八三	七,四一九	一〇,〇〇〇	二,一八五	二,七〇三	二,七七六	九,五三七	九,五三七	六〇,五九六	二〇,四八〇	一七,七九一
〇〇	七四	七三	七六	一九	〇〇	三	五	九〇	〇	五三	〇	一五	七九
七,七七七	六九,五三四	五七,三九八	五〇,三九五				九,四六四	一五			五,〇〇〇	九七	
		〇七	一六								〇〇	五	
			六						七,七三三	一〇,三六六	二〇,七五八	五,〇四四	
			一						三,六九三	五,〇〇〇	一〇,四九三	六,一三二	五,二〇〇
			八						四,〇〇〇	〇	五	五二	
			四						一,七〇〇	〇	四九〇	六,五三六	
			九						〇	〇	〇	〇	
		九,九九〇	三,七四一										
		〇	〇										